

看護総合科学研究会第23回学術集会のご案内

令和元年の6月、北海道はいつものように夏の訪れが待ち遠しい季節ですが、皆さまにおかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

このたび、看護総合科学研究会第23回学術集会を10月12日（土）旭川市大雪クリスタルホールにおいて開催することとなりました。昨年、第22回学術集会におきまして「命のつながり 切れ目のない支援にむけて」をテーマに、札幌マタニティ・ウィメンズホスピタル看護部 佐々木大会長より周産期の視点から地域との連携、社会全体で母と子の家族をどのように見守っていくか、専門性を発揮することの使命を担う役割について心に刻む機会をいただきました。本第23回におきましては、これからの地域包括ケアの中でも難病保健活動に視点を置き、看護専門職としてどのようにその役割を発揮し発展させていくかを題材に「地域包括ケアにおける難病保健活動—豊かに生きる社会づくりをめざして」をテーマといたしました。

今、各自治体は、それぞれのコミュニティに必要な地域包括ケアシステムの構築に取り組んでおります。ケアシステムの一員としての看護職は、保健・医療・福祉の連携のなかで他職種や関係諸機関と協働しながら、住民のニーズに沿う実践を展開しているという多くの報告をうかがっております。看護職として、地域とそこに住まう人々とのあり様を見つめ課題を見極め、その対策をじっくりと練りあげて、一歩ずつ実践し足跡を残していくことが大切だと感じます。

本会におきましては、川村佐和子先生より「難病保健・訪問看護活動のこれまでとこれからへの期待—地域包括ケアの実際」と題して基調講演をいただきます。また、加藤丈夫先生より災害医療とも言えます「震災停電時の人工呼吸器装着在宅難病患者の慢性期病院への搬送システムの構築～Safety netとしてのKINTシステム～」の教育講演をいただきます。先生方からの講演をいただき、これからの難病保健活動、看護職として今できることを皆さまと考えるまいりたいと存じます。多くの皆さまのご参加を心からお待ち申し上げます。

令和元年6月吉日

第23回学術集会 大会長 羽原 美奈子

テーマ：地域包括ケアにおける難病保健活動—豊かに生きる社会づくりをめざして

開催日：令和元年10月12日（土） 9：30～16：30（受付9：00 から）

場 所：北海道旭川市大雪クリスタルホール 旭川市神楽3条7丁目（旭川駅から徒歩10分）国際会議場大会議室
プログラム：

一般演題発表 9：40～12：00

総 会 12：00～12：20

趣旨説明 13：00～13：20

「地域包括ケアにおける難病保健活動—豊かに生きる社会づくりをめざして」大会長 羽原美奈子（旭川大学）

基調講演 13：30～14：50

「難病保健・訪問看護活動のこれまでとこれからへの期待—地域包括ケアの実際」川村 佐和子 先生
（聖隷クリストファー大学 大学院教授）

教育講演 15：00～16：20「震災停電時の人工呼吸器装着在宅難病患者の慢性期病院への搬送システムの構築～Safety netとしてのKINTシステム～」加藤 丈夫先生 （山形大学名誉教授・山形市保健所長・
神経内科専門医）

参加費：会員 3,000 円、非会員 4,000 円（事前申込み 3,000 円）、大学院生 1,500 円、学生 500 円

*非会員の方の事前申込みは、学術集会ホームページを通して9月20日（金）までにご登録下さい。

なお、参加費は当日会場で受け付けます。

*学術集会終了後、懇親会（会費 3,600 円）を予定しております。懇親会への参加を希望される場合には、9月20日（金）までに下記メールアドレスにご連絡下さい。

*本学術集会では、演題申し込み筆頭者が会員であれば発表ができます。また、演題登録時に看護系の大学・短期大学・専門学校の卒業後1年以内であれば、会員でなくても参加費のみで発表ができます。より多くの方々の演題発表をお待ちしております。

連絡先：〒079-8501 北海道旭川市永山3条23丁目1-9

旭川大学保健福祉学部保健看護学科 東野 友子

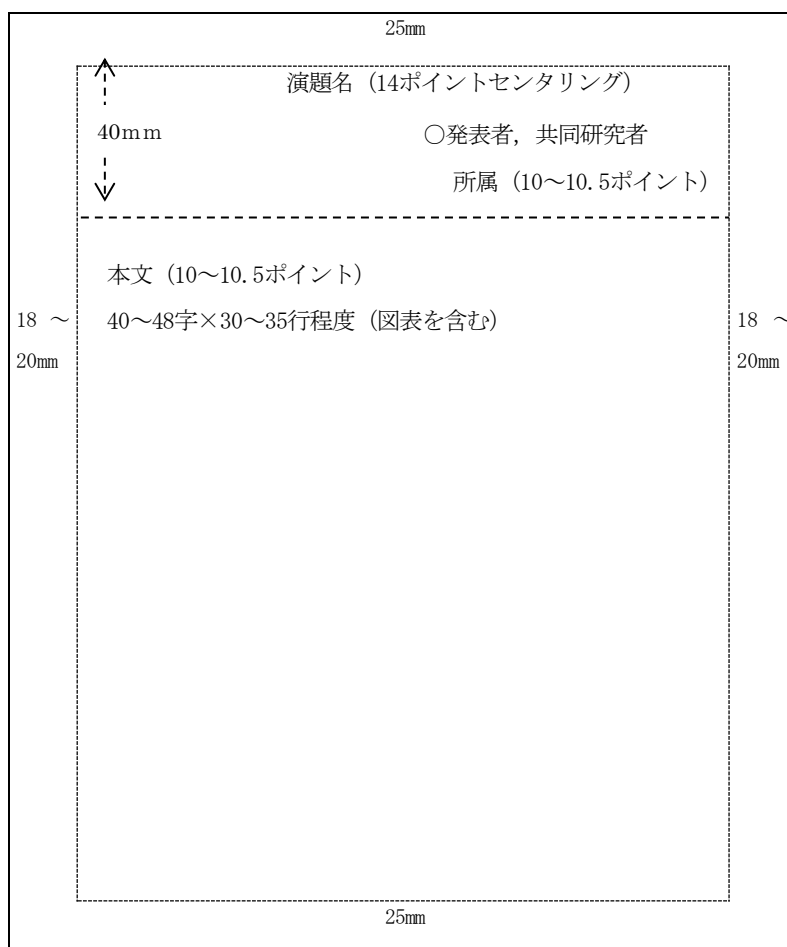
Tel (0166) 48-3121(代) E-mail :kangosogo@live.asahikawa-u.ac.jp

学術集会のホームページをご参照下さい。http://www10.plala.or.jp/kangosougou/index.html

演題申込・抄録集原稿：

- ① 本学術集会では、演題申し込み筆頭者1名が会員であれば発表ができます。すべての方が会員でない場合には、事前に入会手続きを済ませてください。
- ② 演題登録時に看護系の大学・短期大学・専門学校の卒業後1年以内であれば、会員でなくても参加費のみの支払いで発表ができます。この場合は、エントリー後、卒業後1年以内であることを確認するための資料を提出していただきます。
- ③ 原稿はA4判1枚に、下図にしたがって、作成して下さい。
- ④ 演題名は14ポイント、発表者・共同研究者・それぞれの所属及び本文は10～10.5ポイントの明朝体を用いて横書きとして下さい。発表者には○印をつけて下さい。
- ⑤ 本文には、原則として、目的、研究方法、結果、考察、結論を記入して下さい。
- ⑥ 倫理的配慮が必要な研究については、必ず倫理的配慮を記載して下さい。
- ⑦ 図表を挿入する場合は、モノクロで印刷されるため、ご注意下さい。
- ⑧ 原稿は、下記の書式で作成し、電子メールで下記のアドレスに送信して下さい。
- ⑨ 査読の結果、原稿の再提出をお願いする場合がございますので、ご了承ください。
- ⑩ 発表は口演10分、質疑応答5分を予定しています。
- ⑪ 発表は、原則PCにて行います。(発表者用PCにはOSとしてMS-Windows 10、プレゼンテーション用ソフトウェアとしてMS-PowerPoint2013がインストールされています。パワーポイントのデータの持参方法などは、査読後に発表者にご連絡いたします。)

抄録原稿の様式：



締め切り：令和元年9月9日(月)必着

原稿受付：〒079-8501 北海道旭川市永山3条23丁目1-9

旭川大学 保健福祉学部 保健看護学科 東野 友子

Tel (0166) 48-3121 (代) E-mail ;kangosogo@live.asahikawa-u.ac.jp